

自治協議会等ヒアリング結果（ 城南区 ）

1. 自治協議会について「制度ができてよかったこと」、「運営していて困っていること」はどんなことですか。
◇制度ができてよかったこと ●意志決定を機関として行うことができ自治運営、校区独自事業の実施が迅速になった。 ●新しい組織ができて考え方も新しくなってよかった。 ●部会制にしたら会長等は忙しくなった反面、いろんな事がわかるようになったしチェックもできる。 ●各種団体の事業に予算を増やすことができたのは良かった。 ●一本化して機関となって校区全体として動くことができるようになった。各種団体の協力体制が整った。 ●自治協議会設立により各種団体との連携が強くなり連帯感ができた。 ●自治協議会と地域住民の関わりが身近になった。 ●公民館との関係が緊密化してきた。
◇運営していて困っていること ●自治会の役員になり手がない。自治会活動への参加者不足。地域に人材は居るが、自治活動の内容を知らない人や地域にとけ込めない人が多い。 ●町内活動に参加したくない人がマンションに入居する。町費をマンションの管理会社から支払っても、隣組をつくって会議に出席(地域活動に参加)しないと決算報告等の情報は教えていない。 ●町内会で引き継ぎもない場合がある。任期を終えたら何も協力しない。 ●各種団体の長が輪番制のため継続的な発展ができない。(高齢化で受けることができない世帯もある) ●役員の負担が大きいため、今後輪番制にすることなどを提案していきたい。 ●自治協議会は兼務している委員が多いが、兼務はできるだけさせない方がいい。規約の見直しも検討していかないといけない。 ●自治活動に若い人が感心を持ってくれない。自立経営への認識が希薄。 ●指導者が必要。各町に指導者(地域リーダー)を配置できれば意識も変わっていく。指導者育成は行政が企画した方がいい。(地域リーダー養成講座等) ●人材確保のため、今後は町内会長への手当支給が必要である。 ●行政からの依頼が多い。事業を専門的に取り組まないと行政の要望に応えられない。 ●市の事業がいつも決定してから降りてくる。一方的である。もっと事前に話して欲しい。計画段階から協議できるようなシステムを考えてもらいたい。 ●事業の案内等について、区役所の各部署が直接各種団体に連絡するため自治協議会には情報が入ってこない
◇その他 ●全市的には自治協議会の組織の確立(部会制の確立)が必要ではないか。 ●自治協議会は部会制をとるべきだと思っていた。 ●現在、統合されていない団体(社協、人尊協、老人クラブ等)を統合して行かなければならないのではないかと。 ●地域を変えていくには大きな力が必要となる。地域で良い会長といわれるのは当たりさわりがなく何もしない人 ●自治協議会を市は5年後10年後どのようにしたいのかビジョンがわからない。
2. 活力あるまちづくり支援事業補助金について、ご意見をお聞かせください。使い方を自分たちで決められる補助金制度ができたことによって、新たに始められた事業はありますか。
●補助金制度で新たに始めた事業はない。 ●新たに事業を始たり、より活動を推進するには補助金が足りない。ボランティアも無償では限界にきている。 ●活力の補助金は支出面の制限をもっと緩和してもらいたい。 (必須事業の撤廃、食料費、人件費、小・中学校の入学式や卒業式など公的に参加する際の慶弔費、活動に対する謝礼(報酬)や反省会の費用、補助金の繰り越し) ●食料費について行政側はもっと監視・指導が必要ではないか。参加者名簿の提出など厳しくチェックしている。 ●地域が受けているさまざまな補助金・委託料等を自治協議会一本で統一できないか。 ●補助金が一元化されても、これまでの個別補助金を各種団体が既得権化しているので、校区の課題に応じた予算配分ができない。 ●各種団体が成熟していないのに、補助金がうまく活用されているかどうか評価できない。 ●行政は各種団体の活動状況に応じて補助金を増減してほしい。 ●今の補助金制度では、運営が大変だとの意見が聞かれる。結局、運営管理に目がいきすぎて、事業に力が入らなくなる。 ●自治連合会予算については、予算状態は楽ではない。しかし今の制度でもらうことは今以上大変になるという意識が強い。 ●人材不足等で新しい事業ができない。(事業の準備等出てくる人がいつも同じ)
3. 公民館の地域支援について、どのようなことを期待していますか。
●自治協議会と公民館を同じ位置づけにしてもらいたい。(事務室があって、事務職員がいるなど。また公民館職員は市から給与があるが、自治協議会は何もない。) ●公民館の自治協議会への委託について検討してもらいたい。自治協で専従者をおいて公民館を運営できれば本当の意味の自治活動ができるのではないかと。 ●公民館の運営も自治協議会の方で対応したいという意見もあるが、そこまで自治協が担うのは大変で必要ないと思う。車の両輪という位置づけでうまくいくと思う。現状で良い ●今後は、自治協議会と公民館は両輪として同じペースで回っていかないといけない。そのため、定期的に自治協議会役員と公民館長・主事とで情報交換会を実施する。 ●公民館はよく協力してくれている。自治協議会の仕事も協力してもらっている。 ●公民館の館長、主事の意識は、もっと地域に貢献する気持ちが要る。地域の人とのコミュニティがもっと必要。 ●公民館事業について自治協議会もある程度話し合って調整している。 ●公民館事業については、地域住民の意見が反映されていないのではないかと。 ●公民館が中心となった活動と地域活動で同様の活動が見受けられる。同じ内容の取組みについては一本化していかなければならない。(例えば環境パトロールなど) ●公民館内での専用の事務局室が必要。設置、敷地の利用等、さまざまな方策について確実に検討してほしい。今後、建設する公民館には常設できるようにスペースを確保すべきである。 ●行政側から自治協議会に対して各種団体への協力依頼(委員の推薦など)がなされているが、公民館でできないか。 ●運営懇話会委員の手当について交通費程度は出てもおかしくないのでは。非常に頼みにくくなっている。
4. その他、コミュニティ施策全体について
●やる気応援事業補助金の対象年数(3年)しか活動せず継続的な取組が少ない。やる気事業の補助金は校区全体の活動を増やすため活力あるまちづくり補助金に統合するべきである。 ●やる気応援事業補助金の対象期間を3年以上にしてほしい。 ●市民活動保険について内容の充実を検討してほしい。 (細菌性食中毒によるものを対象、休業補償、1年間利用しなかった校区に奨励金を出すような制度の検討) ●市民活動保険の支払いが遅い。事務手続きに時間がかかる。もっと迅速にしてもらいたい。 ●市民活動保険の委託会社の選定について県民共済等に検討してみてもどうか。 ●福岡市のコミュニティ施策の内容がよくわからないので有効に利用できていない。 ●コミュニティ施策に関して地域へもっと事前説明等、情報提供をしてもらいたい。 ●ボランティア団体、NPOへ支援することで自治協議会の組織が分散されるのではないかと。 ●自治会に加入するメリットが感じられるような施策等は考えられないか(ゴミ出しルールを守るための施策等) ●校区ベンチマーク事業については、各校区とも自治協議会が成熟していない中で、なかなか受け入れが難しいのではないかと。 ●男女共同参画や人権の問題は、学校教育の段階でちゃんとやれたい。今の状況で効果は上がらない。 ●人尊協に対する制度の拡大、拡充が必要である。
5. 地域活動をしていて「よかったこと」、「困っていること」はどんなことですか。
◇よかったこと ●幅広い人と接する事ができ地域・分野を知ることができた。 ●交流が広がっている。人間関係もよくなっていると思う。 ●協議会の意見も連合会時代と比較すると、よい意見が出されるようになった。 ●地域住民から感謝され、喜んでもらえると苦労のしがいがあったと感じられる。
◇困っていること ●非常に忙しく自分の時間がなかなかとれない。 ●交際費等は自腹で支出している。 ●人集めが大変難しい。新しく組織を作って活動していこうとしても住民は協力しない。 ●国勢調査について調査員の推薦依頼など自治協議会へ依頼してほしくない。アルバイトで対応できるなら最初からアルバイトを雇えばいい。 ●共同募金、赤十字募金について町費から拠出するのはおかしい。各町、校区ごとに募金額が表示される。公表すると意図はなくても他の自治会の額が比較の対象となる。工夫が必要。 ●自治会には、何でも言うてくる。また地域にはそれぞれしなければならない役があるが、それを持つ人がいないと全て自治会長の負担となる。 ●自治会の未加入の問題(ワンルームマンション、出入りが激しいマンション、家主が積極的でない借家など、賃貸の集合住宅の対処が難しい)
6. その他、日ごろの地域活動でお気づきの点をお聞かせください。
●自治組織もガラス張りにして、情報を提供することが必要である。 ●全ての行政の窓口を地域支援課に一本化してもらいたい。 ●地域住民の意識改革が必要で、自治活動は住民の義務なんですよということを行政でやって欲しい。マスコミも支援して欲しい。 ●自治協議会と民生・児童委員はうまくいっていない。推薦しても後は知らん振りで、システムがおかしいと思う。 ●校区担当職員についても、当初各校区1名にするような話だったが、専任にして公民館に貼り付けてもらえれば、運営指導から管理監督まで行えるのではないかと。

